

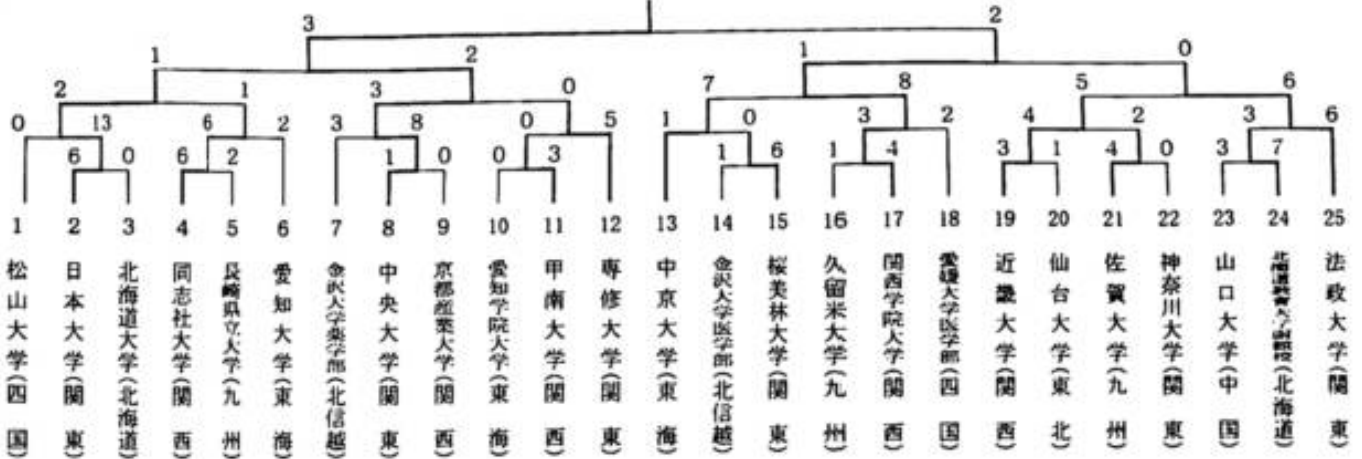
2008年

第60回全日本大学選抜準硬式野球選手権大会

会期：平成20年8月29日(金)～9月3日(水)

会場：サーパススタジアム、県営第二球場
志度球場、津田球場

中央大学



(戦評) 初回、甲南大学は四球で作ったチャンスに5番松ヶ谷がタイムリーで先制した。序盤は両投手の好投で投手戦が続いた。甲南大学は4回、5回と機動力を活かし、着実に追加点を挙げる。愛知学院学もランナーは出すものあと一本が出ず得点が奪えなかった。少ないリードを堅実な守備で守りきった甲南大学が勝利を収めた。

愛知学院大学	打	安	点	振	球
(7)	齊杉	2	0	0	1
(4)	植上	2	0	0	1
(2)	利瀬	3	0	0	1
(3)	上利	3	0	0	2
(6)	瀬伊	2	0	0	1
(9)	山下	4	0	0	1
(8)	石田	4	0	0	0
(5)	打	4	1	0	2
(1)	打	1	1	0	0
計		27	2	0	11

甲南大学	打	安	点	振	球
(7)	島田	4	2	0	0
(4)	中村	3	1	0	0
(3)	谷上	3	2	0	0
1	本村	0	0	0	0
(9)	松ヶ谷	0	0	0	0
(6)	岩谷	4	1	0	1
(5)	木原	3	0	0	1
(2)	井	3	0	0	3
(8)	井	3	0	0	0
(1)	井	3	0	0	0
計		31	9	0	9

一回戦 第一試合
◎八月三十日 香川県営第二野球場
甲南大学 1 0 0 1 1 0 0 0 0
愛知学院大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0
0 3
(甲) 石原・井上・岩谷
(愛) 下島・田辺・植村

(戦評) 一回裏に菊池のライト前へのヒットで専修大学が先制した。その後引き締まった投手戦を展開するが、7回に甲南大学は連打をあびて4点を取られてしまう。甲南大学は最後まで専修大学のピンチャーを捉えることができず、無失点に終わった。

専修大学	打	安	点	振	球
(5)	久保	3	1	0	1
(6)	田浦	2	0	0	1
打	林	1	0	0	0
6	今	0	0	0	0
(8)	加牧	3	2	1	0
(9)	野池	4	1	0	0
(3)	辻	4	2	2	1
(7)	川山	0	0	0	0
1	田中	4	1	0	0
(4)	居川	2	0	0	0
(1)	折長	1	1	0	0
打	谷	1	0	0	0
7	島	1	0	0	0
(2)	計	33	12	5	4

甲南大学	打	安	点	振	球
(7)	島田	3	1	0	0
(4)	中村	3	1	0	0
(3)	谷上	3	0	0	1
(9)	本村	3	1	0	1
(6)	松ヶ谷	3	0	0	1
(5)	岩谷	4	0	0	1
(2)	木原	2	1	0	0
(8)	井	1	0	0	1
(1)	井	3	1	0	0
打	井	0	0	0	0
1	井	0	0	0	0
計		28	5	0	5

二回戦 第二試合
◎八月三十一日 香川県営第二野球場
甲南大学 0 0 0 0 0 0 0 0 0
専修大学 1 0 0 0 0 0 4 0 0
5 0
(甲) 井上・石原・岩谷
(専) 田中・川田・児島
☆三塁打 辻(専)
☆二塁打 菊池(専)

春季リーグ戦

◎三月二十三日 舞洲ベースボールスタジアム
 兵神戸 0110000 2
 甲南大 500113x 10 (七回コールド)
 (兵) 平山・多久和
 (甲) 矢羽田・藤原・日高・田村桂
 ☆二塁打 佐藤・平山・嶺田(兵)
 田村桂・佐野・橋本(甲)

◎三月二十五日 久宝寺緑地公園野球場
 神外大 0000020 2
 甲南大 001007x 9 (七回コールド)
 (外) 大原・総谷・江藤
 (甲) 石原・日高・田村桂
 ☆三塁打 島中(甲)
 ☆二塁打 田村智・橋本・丸井・奥谷(甲)

◎四月一日 久宝寺緑地公園野球場
 和 大 000000 0
 甲南大 01105x 16 (五回コールド)
 (和) 松原・阪本・大野・渡口・中尾
 (甲) 矢羽田・石原・田村桂
 ☆本塁打 國政(甲)
 ☆三塁打 島中・橋本(甲)
 ☆二塁打 奈瓜・石橋・松ヶ谷・石原(甲)

◎四月四日 久宝寺緑地公園野球場
 近 大 000201000 3
 甲南大 100010001 3
 (九回引き分け)

(近) 杉本・大前
 (甲) 石原・日高・藤原・井上・田村桂・岩谷
 ☆二塁打 阪本(近)

◎四月十一日 久宝寺緑地公園野球場
 甲南大 003300300 9
 兵神戸 100020010 4
 (甲) 日高・井上・石原・岩谷
 (兵) 平山・大関・若狭
 ☆三塁打 丸井(甲)
 ☆二塁打 田村桂・岩谷・石橋2・丸井(甲)

◎四月十四日 尼崎記念公園野球場
 甲南大 41200008 15
 神外大 10000000 1 (八回コールド)
 (甲) 石原・藤原・矢羽田・井上・岩谷
 (外) 大原・江藤
 ☆本塁打 佐野(甲)
 ☆二塁打 島中2・奥谷・奈瓜・田村桂・田中(甲)

◎四月二十一日 尼崎記念公園野球場
 甲南大 0030103 7
 和 大 00000000 0 (七回コールド)
 (甲) 井上・矢羽田・岩谷
 (和) 中尾・田中・松原・泉谷
 ☆二塁打 佐野2・田村桂(甲)、池田(和)

◎四月二十三日 舞洲ベースボールスタジアム
 甲南大 000000000 0
 近 大 000000000 0
 (九回引き分け)

(甲) 石原・井上・岩谷
 (近) 杉本・橋本・大前

◎四月二十五日 久宝寺緑地公園野球場
 甲南大 210115000 10
 大経大 040000010 5
 (甲) 石原・矢羽田・井上・岩谷
 (経) 北川・野口・門内・北川・山口・富
 ☆本塁打 三宅(経)
 ☆二塁打 島中(甲)、岡谷・上野(経)

◎四月二十八日 寝屋川公園第一野球場
 大経大 100000 1
 甲南大 20620x 11 (六回コールド)
 (経) 北川・門内・野口・富・山口
 (甲) 井上・矢羽田・岩谷
 ☆三塁打 島中(甲)
 ☆二塁打 岡谷・上野(経)

優勝 甲南大学

順位	甲南大	近畿大	大経大	兵神戸	神外大	和 大	勝	敗	分
1位	甲南大	△△	○○	○○	○○	○○	8	0	2
2位	近畿大	△△	●○	○○	○○	○○	7	1	2
3位	大経大	●●	○●	○○	○○	○○	7	3	0
4位	兵神戸	●●	●●	●●	●○	△○	2	7	1
5位	神外大	●●	●●	●●	○●	●○	2	8	0
6位	和 大	●●	●●	●●	△●	○●	1	8	1

春季リーグ戦優勝！

(個人賞)

最優秀選手 石原 孝幸(甲南大)
 最多勝利投手 橋本 岳太(近畿大) 五勝
 最優秀防投手 橋本 岳太(近畿大)
 防投手 ○・五〇

首位打者 阪本 真一(近畿大)
 打率 ○・四八〇
 打点 王 橋本 裕樹(甲南大) 11点
 本塁打 王 該当者なし

盗塁 王 奥 壮次朗(大経大) 11盗塁
 (3本以上いないため)

(ベストナイン)

投手 橋本 岳太(近畿大)
 捕手 大前 貴裕(近畿大)
 一塁手 橋本 裕樹(甲南大)
 二塁手 岡谷晃太郎(大経大)
 三塁手 丸井 淳平(甲南大)
 遊撃手 三宅 良(大経大)
 外野手 阪本 真一(近畿大)
 奥 壮次朗(大経大)
 岩本 直也(兵神戸)

(打撃十傑)

1 阪本 真一(近畿大) ○・四八〇
 2 大前 貴裕(近畿大) ○・四二九
 3 橋本 裕樹(甲南大) ○・四二八
 4 岡谷晃太郎(大経大) ○・四二一
 4 丸井 淳平(甲南大) ○・四二一
 6 若狭 圭輔(兵神戸) ○・四一九
 7 田村桂二(甲南大) ○・三八九
 8 奥 壮次朗(大経大) ○・三七八
 9 岩本 直也(兵神戸) ○・三七一
 10 小野 翼(大経大) ○・三七〇

秋季リーグ戦

◎九月九日 尼崎記念公園野球場
和 大 0000000000
甲南大 111000000x 3
(和) 松原・橋本
(甲) 井上・岩谷
☆三塁打 田村(甲)、井上(甲)
☆二塁打 田村(甲)

◎九月十一日 尼崎記念公園野球場
神外大 000000
甲南大 41014x 10 (五回コールド)
(神) 大原・津上・松梅
(甲) 日高・藤本・岩谷
☆二塁打 田村2(甲)

◎九月十六日 尼崎記念公園野球場
兵神戸 0000000000
甲南大 02000111x 5
(兵) 柴阪・若狭
(甲) 矢羽田・石原・井上・岩谷
☆二塁打 橋本・為井(甲)

◎九月二十四日 久宝寺緑地公園野球場
大経大 2001000000
甲南大 000010010 2
(大) 野口・田窪・河村
(甲) 矢羽田・井上・岩谷
☆三塁打 丸井(甲)
☆二塁打 小野2(大)

◎十月六日 舞洲ベースボールスタジアム
甲南大 001111020 6
兵神戸 000000000 0
(甲) 石原・矢羽田・岩谷
(兵) 柴阪・大園・若狭
☆二塁打 国政・岩谷・佐野(甲)

◎十月七日 久宝寺緑地公園野球場
甲南大 70222 13
神外大 01100 2
(甲) 日高・浦川・中根・岩谷
(神) 大原・山本・松梅
☆三塁打 田村(甲)
☆二塁打 橋本・為井2(甲)、江藤(神)

◎十月八日 久宝寺緑地公園野球場
近畿大 000030000 3
甲南大 001001000 2
(近) 杉本・阿部
(甲) 石原・井上・岩谷
☆二塁打 相坂(近)、国政(甲)

◎十月十日 舞洲ベースボールスタジアム
甲南大 000100002 3
大経大 001010000 2
(時間により八回終了)
(甲) 井上・石原・岩谷
(大) 北川・河村
☆二塁打 島中・国政・橋本(甲)

◎十月十五日 尼崎記念公園野球場
甲南大 004010000 5
近畿大 000100000 1
(甲) 石原・岩谷
(近) 杉本・西浜・阿部
☆三塁打 田村・橋本(甲)

◎十月十七日 久宝寺緑地公園野球場
甲南大 00041002 7
和 大 00000000 0 (七回コールド)
(甲) 井上・矢羽田・岩谷
(和) 田中・松原・橋本
☆三塁打 田村・酒井(甲)
☆二塁打 佐野・坂東(甲)、瀧口(和)

優勝：甲南大学

順位	大学名	甲南大	大経大	近畿大	兵神戸	神外大	和 大	勝	敗
優勝	甲南大	●○	●○	○○	○○	○○	○○	8勝2敗	
2	大経大	○●	●○	○○	○○	○△	○○	7勝2敗1分	
3	近畿大	○●	○●	●○	○○	○○	○○	7勝3敗	
4	兵神戸	●●	●●	●●	●○	○○	●○	3勝7敗	
4	神外大	●●	●●	○●	●●	○○	○○	3勝7敗	
6	和 大	●●	●△	●●	○●	●●	●●	1勝8敗1分	

総合成績

秋季リーグ戦優勝！

《個人賞》

最高殊勲選手 田村桂二紀 (甲南大)

最多勝利投手 該当者なし (5勝以上不在のため)

最優秀防壁 井上健太郎 (甲南大) 防壁率98%

首位打者 田村桂二紀 (甲南大)

打点王 河村弘平 (大経大) 37打数17安打 打率○・四五九

本塁打王 該当者なし (3本塁打以上不在のため)

盗塁王 該当者なし (10盗塁以上不在のため)

新人王 大島 誠司 (近畿大)

《打撃十傑》

1 田村桂二紀 (甲南大) ○・四五九

2 国政 秀平 (甲南大) ○・四五八

3 河村 弘平 (大経大) ○・四二九

4 豊谷 悠生 (兵神戸) ○・三七五

5 小野 翼 (大経大) ○・三六四

5 北川 竜徳 (大経大) ○・三六四

7 並木 聡 (甲南大) ○・三五三

8 西村 大樹 (大経大) ○・三四六

8 大島 誠司 (近畿大) ○・三四六

10 九井 淳平 (甲南大) ○・三四四

《ベストナイン》

投手 井上健太郎 (甲南大)

捕手 河村 弘平 (大経大)

一塁手 青山 央樹 (大経大)

二塁手 田村桂二紀 (甲南大)

三塁手 西村 大樹 (大経大)

遊撃手 豊谷 悠生 (兵神戸)

外野手 国政 秀平 (甲南大)

” 北川 竜徳 (大経大)

” 渡口 洋輔 (和 大)

2008年

思い出

田中(オルティエ)、森岡、奈爪、安芸、松ヶ谷、結ちゃん。甲子園経験者から水泳部まで幅広いジャンルを擁し、名前を見ればすぐに顔が浮かぶ7人の超個性的なメンバー。吉岡監督指導の下、戦力豊富な後輩達に助けられ、数年振りに全国の舞台に再び咲きました。

野球を愛する誰しものが、過去の経歴や年代を超えて一体となって真剣に野球を楽しむ。そんな"準硬"らしい野球で、周りからも愛されるチームであった事が何よりの誇りです。

新チーム発足から、メンタルトレーニングと称し、積極的にミーティングの機会を増やしたことが、チームワーク強化・自分達で考える野球につながりました。4回生として臨む最期のリーグ戦直前には、流行病(麻疹)でグラウンドが使用できなくなる等のアクシデントもありました。

振り返れば時代や社会の縮図のような経験を、準硬を通して得ることができました。

数々の困難を乗り越え、甲南大学準硬式野球部の快進撃はここから新たな時代を開きました！

学生主体で自由な伝統と野球の楽しさを改めて教えていただいたOB・先輩方に感謝を込めて。

2009年卒（平成21年卒）田村 智

